**1. *オメガと* 2018 *年オリンピック 平昌大会***

## 2. *オメガと冬季オリンピックの歴史*

**3. *平昌大会で使われるオメガの新技術***

**4. *オメガの競技別計時技術***

**4.1 *スピードスケート***

**4.2 *アルペンスキー***

**4.3 *アイスホッケー***

**4.4 *スノーボード ビッグエア***

**5. *瞬時にわかる情報***

**6. *“ピョンチャン* 2018*” リミテッド エディション ウォッチ***

***オメガと* 2018 *年オリンピック 平昌大会***

1988 年、オリンピック ソウル大会が開催され、各国のトップ選手が最高の舞台でしのぎを削りまし

た。それから 30 年後、オリンピックが再度、韓国で開催されます。今回は冬季オリンピックの舞台 です。ソウル大会とは種目も変わり、選手も世代交代しています。しかし、これまでの卓越した実績 により、オフィシャルタイムキーパーは当時のままです。

オメガが最初に冬季オリンピックのオフィシャルタイムキーパーになったのは 1936 年のことです。 開催地は、ドイツのガルミッシュ パルテンキルヘンでした。当時、現地に送られた技術者はたった 1 人で、27 個のオメガのストップ ウォッチを使ってすべての競技の記録がなされました。それから

82 年の歳月が流れ、その間オメガは計時技術を発展させ続け、今日ではタイムキーピング（計時） の分野において、他を寄せつけない高い評価を得ています。

オメガにとってオリンピックの計時が 28 回目となる今大会でも、オフィシャルタイムキーパーと してその責務を全うします。オメガは平昌に 300 人のタイムキーパー、350 人の研修を受けたボラン ティア、そして重量 230 トンに及ぶ計時装置を送り込みます。その中には、30 台のパブリック スコアボード、90 台のスポーツスコアボード、そして、何十キロにも及ぶケーブルや光ファイバー が含まれています。

2 月 9 日から 25 日まで開催されるオリンピック 平昌大会において、オメガは各競技の結果を伝え、 パフォーマンスを測定します。全ての選手、観客、そして審判員が、最も信頼できるタイムキーパー とともにあるといえます。3 月 9 日からのパラリンピック 平昌大会においても、オメガはその責務を 引き続き果たします。

選手たちの夢が叶う準備は整いました。スターティング ピストルも準備万端です。 選手たちのパフォーマンスに期待しましょう！

# *オメガと冬季オリンピックの歴史*

###  *オメガにとって最初の冬季オリンピック*

1936 年は、オメガが初めて冬季オリンピックの公式計時を担当した年です。ガルミッシュ パル テンキルヘンに降り立ったオメガは、27 個のストップウォッチを携えてすべての競技の計時を 行 いました。これより以前の 1932 年のロサンゼルス大会の際にも、オメガは史上初のオフィシャルタ イムキーパーとして計時を行なっています。

今日、オリンピックの計時時計にはオメガの名前があります。平昌大会は、オフィシャルタイム

キーパーのオメガにとって 28 回目のオリンピックであり、1936 年から数えて 14 回目の冬季オリン ピックになります。先日、IOC（国際オリンピック委員会）とオメガのパートナーシップ延長の発表 がありましたが、今後、少なくとも 2032 年まではオメガがオリンピックのオフィシャルタイムキー

パーをつとめることになり、それは最初の年からちょうど 100 年にあたります。

###  *光電子計時装置（フォトセル）*

1948 年は、オメガの光電子計時装置がオリンピックで使用された最初の年です。人間の動体視力 の限界を超えることができるこの革新的な技術は、導入から今日に至るまで活用され続けています。 1948 年のサンモリッツ大会の際、この装置はフィニッシュラインに設置され、そこから高感度の 光線を発していました。最初にゴールを切る選手がフィニッシュラインを越えると同時に、電子タイ

マーが自動的にストップし、1000 分の１秒の正確さで、競技の結果を計時することができたのです。

今日でも、光電子計時装置（フォトセル）は活用されています。現在、スピードスケートにおいて

は、氷上からわずか 2、3cm のところにこの光線が放たれています。勝者のスケート靴がフィニッ シュラインを通過すると同時に、時計が止まるようになっています。このシステムにより、僅差の 勝負でも勝者が明確になり、考えうる限り最も正確なタイムを記録することができます。

###  *スターティング ゲート*

1956 年は、オリンピックのアルペンスキー競技において、オメガがスターティング ゲートを導入 した最初の年です。コルティナ ダンペッツォ大会でデビューしたこのゲートは、レースの開始を知ら

せるものです。選手がこのゲートを通過すると、オメガ クォーツ レコーダーが作動する仕組みです。

今日、オメガの「スノーゲート」テクノロジーは、最新の技術を備えています。2010 年のバン クーバー大会の際に導入されたこの技術では、バーがある角度になった時にスタート信号の音が鳴る ようになっています。その後、選手がゲートから飛び出した瞬間に、計時システムが自動的に作動 します。

###  *観戦のための技術*

1964 年は、オメガがテレビ画面にオリンピックのタイムを重ねて表示した最初の年になります。 これを可能にしたのは、当時の最新技術である「オメガスコープ」でした。それまでは、競技場の 外にいる人がリアルタイムで競技タイムを知ることは不可能だったのです。この技術が導入された インスブルック大会から、テレビでも“リアルタイム”でスポーツ観戦をするという概念が広まったの です。

今日、オメガが提供するテレビ画面の情報は、当時とは比べものにならないほど進化を遂げました。

オメガスコープは使われなくなりましたが、平昌大会ではほとんどの競技において、計測された様々 な情報がテレビ画面に表示されるのをご覧いただけるでしょう。モーションセンサー システムの導入 により、オメガは、競技のスタートからゴールまでの継続的な計測結果を提供します。これにより、 観客はその競技の進捗をより深く理解でき、楽しむことができるのです。

###  *統計・分析結果の提供*

1968 年は、オメガがオリンピックで「インテグレーテッド タイミング」を初めて導入した年です。 オメガはこの年のグルノーブル大会で、プレス、メディア、テレビ局、審判員、そして一般観衆に

対して、競技にまつわる情報だけはなく、より深い統計をも提供するようになりました。さらに、 バージョンアップしたオメガスコープにより、選手の名前、リアルタイムの計時、最終タイム、中間 タイム、スピードといった競技にまつわる様々な情報をテレビ画面に表示することができるように なりました。

今日、オメガの統計・分析情報は、過去最高の充実度を誇っています。さらに、その精度は日進

月歩で進化しているのです！ 平昌大会では、膨大な計時・計測情報が、瞬く間にメディアや観客に 届けられることになります。スキージャンプのスピードからアイスホッケーのポジショニングまで、 冬季オリンピック競技の情報量としては、間違いなく過去最高になります。

###  *ライブ ランキング*

1980 年は、オメガが、ゲーム オー マティックを導入した最初の年です。これは、アルペン スキー競技で、選手がゴールした瞬間に順位を計算し、表示するシステムです。独自のデータプロ セス装置を有し、当時のレークプラシッド大会における組織委員会の期待をはるかに上回りました。

今日、このシステムはもう使われていませんが、オメガが競技関連情報を瞬時に提供していること

に変わりはありません。時代が進むにつれ、選手の動きが速まるとともに、求められる情報処理の 速度と精度は増すばかりです。幸いにもオメガは、この要求と期待に応える仕事をしています。

###  *フォトフィニッシュ カメラ*

1992 年、オメガは、スキャン オー ビジョンをアルベールヴィル大会で初めて導入しました。 それ以前のオリンピックでも、オメガはフォトフィニッシュ カメラを使用していましたが、この最新 のスキャン オー ビジョンは、デジタル計時により、約 1000 分の 1 秒まで計測することができるよう になったのです。この精度は驚嘆に値するもので、計時科学の分野において、新しい時代の幕開けを 意味しました。

今日、オメガのスキャン オー ビジョン カメラは、オリンピックにおいて活躍を続けています。 システムの精度とクオリティは過去 20 年間で進歩し続け、今ではこのカメラによる画像は、公式 結果を判定するために審判が使用しています。最新モデルのスキャン オー ビジョン ミリアは、１秒 間に 1 万枚のデジタル画像を生成することができます。

###  *現代のタイムキーピング*

2006 年は、選手が着用する特別なトランスポンダーをオメガが初めて導入した年です。この装置 は、トリノ大会においてスピードスケートの種目であるチームパシュートで主に使用されました。 ラジオ信号を送受信するためのトランスポンダーは選手の足首に装着されます。これにより、オメガ はより正確な計時をすることができるのです。

2010 年、オメガはバンクーバー大会で、新しい電子スターティング ピストルを導入しました。 それまで使われていたピストルの代わりに、フラッシュガンとサウンド ジェネレーション ボックス

（音響発生装置）という、無駄を省いた近未来的なデザインの装置を開発したのです。スターターが トリガーを押すと、3 つの事が同時に起こります。「スタート音が再生され」「閃光が走り」「スタ ート信号が計時機器を作動させる」のです。

2014 年のソチ大会では、新しいテクノロジーがいくつか導入されました。その中には、進化した アスリート トラッキング システムも含まれています。アイスホッケーでは、オメガはホイッスル 探知システムを導入しました。アイスリンクにいる審判らがこの装置を装着することで、マイクを

通じて計時ベンチのスコアキーパーに状況を伝えることができます。また、審判のホイッスルの音を

検知すると、時計を止める機能もあります。この装置のおかげで、タイムキーパーが手動で操作する のに比べて、少なくとも 0.5 秒早く反応することができるのです。

# *平昌大会で使われるオメガの新技術*

オメガは、平昌大会でオリンピックの輝かしい未来のための礎を作ります。今大会では、高精度の センサーシステムを通じて、競技のスタートからフィニッシュまでの連続的な計時・計測を実現しま す。つまり、選手がレースのどの時点でスピードが下がったのか、または上がったのかといったこと がすぐにわかるようになります。言い換えれば、勝敗が分かれたポイントを数値で理解する事ができ るようになるのです。

アルペンスキーヤーのリアルタイムのスピード計測から、アイスホッケーのチーム フォーメーション まで、オメガが提供する情報が、すべての競技にまったく新しい価値を加えることになります。

またこれらの情報は、競技会場にいる観客、そしてテレビで観戦している人々にとって、その競技で 今、何が起こっているのかを、リアルタイムでより深く理解する手助けにもなります。

2018 年の平昌大会でオメガの行うことすべてが、観客の観戦体験の質を高め、選手のパフォーマン ス向上に役立つ情報を提供することに直結するのです。

今回のように深く、精密なデータが即座に提供されることは、オリンピック史上なかったことです。 つまり、この大会が新たな時代の幕開けとなることは確かです。

では、それぞれの競技でのオメガの計時技術を紹介していきましょう。

### *アルペンスキー*

加速や停止といったような動作も、計測が可能になりました。しかしそれより重要なのは、選手の スピードがライブ表示されるということでしょう。スタートしてから複数の中間地点において、継続 的にスピード情報が更新されていきます。それだけではなく、各計測地点において暫定１位の選手の スピードとの比較表示も行われます。

レース終了後、オメガは詳細な競技分析結果を提供し、報道関係者はそれを使って選手の比較などを することができます。もちろんそれらのデータは、選手自身と彼らのコーチにも提供されます。さら に、ストロモーションや サイマルカム といったシステムのお陰で、各選手は、正確にどのポイントが

勝負の分かれ目だったのかといったことも認識できるのです。

### *クロスカントリーとノルディックスキー複合*

平昌大会では、オメガの新しいポジショニング シ ス テ ム の導入により、クロスカントリーとノル

ディックスキー複合において、選手の位置情報がリアルタイムで計測できるようになります。個人・

団体種目両方に対応しており、ゴールまでの距離、スピード、そして、各グループ間の差を表示する ことができます。

ある１人の選手の情報がスクリーンに表示される際、オメガのシステムは同時に暫定 1 位の選手の

情報も表示し、比較することができます。さらに複数のポイントにおける比較表示も可能です。また、 傾斜チャートのような革新的技術により、起伏のあるコース上の選手の位置をピンポイントで計測で きるようになり、他の選手との対比も可能になります。

### *スキークロスとスノーボードクロス*

オメガには、この２つの競技を様々な角度から計測できる技術があります。競技パフォーマンスの ほとんどすべての動きを深く分析できるといっても過言ではありません。選手が 1 人でコースを滑る

予選時には、リアルタイムでもリプレイでも見ることができる、 クロス ジ ャ ンプ アナリシスと いう

情報を提供します。この情報は、まず各ジャンプにおける「テイクオフ」時のスピード計測から始ま

り、次にジャンプ中にリアルタイムで表示される距離測定が行われ、最終的にジャンプの距離が割り 出されます。そして最後に着地時のスピードも計測、表示されます。

### *スピードスケート*

スピード感が人気の冬季オリンピックでの花形競技のひとつ、スピードスケートは、今大会で、観客 にとってさらに興奮度が高いスポーツになろうとしています。個人種目（「マススタート」は除く） において、リアルタイムのスピードがスクリーン表示されるようになり、スピードの変化が随時 アップデートされます。

また、暫定 1 位のタイムとの比較をライブ表示することも可能になります。これにより、観客は各選 手の試合状況をユニークな視点から観戦することができ、競技への理解をより深めることができます。

さらに、リンクにおける各選手や各チームのポジションもリアルタイムで表示することができるよう になります。選手のポジションをピンポイントで表示することで、どの選手が優位に立っているかと いうことが明確にわかるようになるのです。各選手が勝つために越えるべきタイムラインも、トラッ

ク上にライブ表示されます。1 位になるために、あとどれくらいの距離を縮めなければならないのか、 一目瞭然になるのです。

### *ショートトラック スピードスケート*

レース終了後のリプレイにおいて、1 位と 2 位、あるいは 2 位と 3 位の選手間のスケート靴の距離を 表示することができます。この測定はフィニッシュラインで行われ、ショートトラックというスピー ドが勝負の競技の計時に、さらなる精度をもたらすシステムです。

### *ボススレー*

ボブスレーの内部にあるセンサーにより、重力、傾斜、軌道、加速度などが計測されます。この情報 により、各チームは勝敗の原因を理解することができるようになります。コースに設置された 6 本の リピーターアンテナが、ボブスレーのスピードを計測し、リアルタイムで送信します。テレビ画面で は、この情報はメーターの白い針によって表示され、グリーンの目盛が最高速度を表します。ボブス レーが減速し始めると、そのレースにおける最高速度が表示されます。その試合全体における最高速 度が計測された場合は、リアルタイムで赤色で表示されます。

オメガのスレッド パス システムは、ボブスレーやスケルトン、そしてリュージュなどの競技におい

て、各チームのパフォーマンスを比較する事ができるシステムです。現在走行中のソリは常に赤で

表示され、同時に暫定 1 位のソリが走行した軌道が青で表示されます。この２つを比較する事で、 各チームの戦略やテクニックが浮き彫りになるのです。

### *フリースタイルスキーとスノーボード* - *ハーフパイプ*

ハーフパイプは動きが多い競技です。数多くの採点基準があり、そのすべてがスコアに換算されます。 今回、観客のためのディスプレイには、各選手のランが終了した後に、最高ジャンプと平均ジャンプ

が表示されるようになります。しかし、計測される情報はそれだけでなく、1 つのジャンプにおける ローテーション（回転）の数も計測されます。

### *アイスホッケー*

詳細な分析情報は、各チームにとって貴重なものになります。彼らは試合後、その情報を元に試合を 分析し、今後に活かす事ができるからです。オメガのアイスホッケー用分 析 ツ ー ル は、メイン モー

ション センサー データと連動させる事で、今、リンクの上で起こったアクションをヴィジュアルで 表示することが可能です。このツールはリプレイやゲーム分析の際に活用され、選手とパックの動き を知ることができます。具体的には、各選手のスピード、試合時間、各選手間の距離、そして、チー ムフォーメーションの表示などが可能です。

### *スキージャンプ* / *ノルディックスキー複合*

高所からのジャンプの際、選手には全ての条件が味方する必要があります。平昌大会においてオメガ は、ジャンプ競技関連の価値あるデータを選手に提供します。その情報はまた、観客にとっても競技 の詳細をより深く知るために非常に役に立つものになります。

助走路でのスピードは、観客が最も興味のある情報のひとつですが、今回、この情報が各ジャンプ ごとに表示されることになります。選手がジャンプに至ると、その表示は「テイクオフ」スピードに 切り替わります。

ジャンプの「20m 地点」においての滞空スピードも表示され、そのスピードは「テイクオフ」スピー ドと比較され、どれだけ早いか、同じか、遅いかといった表示がなされます。最後に「ランディング

（着地）」スピードが瞬時に計測、表示され、ジャンプの距離の計測結果が出たところで切り替わり ます。また、競技の生放送中、画面では着地地点にヴァーチャル ラインが表示され、暫定１位の距離 が一目でわかるようになります。

### *ストロモーション*

今大会で、オメガは最新の「ストロモーション」技術を導入します。これは、一連の動作をいくつか のセクションに区切ることによって、より詳しく見るためのものです。この技術を使って選手たちが 描く軌道をビデオ映像で見られるようになり、今までベールに包まれていた選手の動作やテクニック が明らかになり、彼らがいかに素晴らしいかを知ることができるのです。ストロモーションが活用 される競技は、アルペンスキー、フィギュアスケート、エアリアル、そしてハーフパイプです。

### *サイマルカム*

平昌大会において、オメガのサイマルカムが、数多くの競技でのリプレイの精度を向上させることに なります。リプレイの際、選手の姿を別の選手の姿と重ね合わせて表示をすることで、それぞれの 選手のテクニックや競技の違いが一目瞭然で分かるようになるのです。サイマルカムの映像表示が 見られる可能性のある競技は、アルペンスキー、ボブスレー、スケルトン、リュージュ、スキー ジャンプ、そしてノルディックスキー複合です。

### *コースマップとアニメーション*

観客が競技コースや会場の全容を把握するために、オメガは今回のオリンピックで、ヴァーチャル グラフィックを活用したコースマップとアニメーションを提供します。

***オメガはいかにしてスピードスケートを計時するのか***

 ***種目***

時速 60km 以上のスピードで競い合うスピードスケートは、機械を使わずに人間の力だけを動力と

するスポーツとしては、最高のスピードが出る競技です。今回の平昌大会では、スピードスケートで 14 種目が開催されます。 女子は、500m、1,000m、1,500m、3,000m、5,000m、そしてチームパシュートです。 男子は、500m、1,000m、1,500m、5,000m、10,000m、そしてチームパシュートです。

さらに今回のオリンピックでは、スピードスケートに新たに 2 つの種目が加わります。男子マス スタートと女子マススタートです。この種目は、その名前が指し示す通り、全選手が同時にリンクの 上に立って一斉にスタートし、一周 400m のリンクを 16 周します。まず準決勝が 2 回行われ、各 レースの上位 8 選手が決勝に進みます。

このレースの勝敗を分けるのは、最終ゴール地点だけではありません。レース中、3 つの計測ポイン トが設けられているのです（4 周、8 周、12 周）。それぞれのポイントで上位通過した選手にはポイ ントが与えられます（1 位 5 ポイント、2 位 3 ポイント、3 位 1 ポイント）。そして、ゴール順に

1 位 60 ポイント、2 位 40 ポイント、3 位 20 ポイントが与えられます。つまり、最終的に 1 位、2 位、

3 位でゴールした選手は自動的にメダルを獲得できる仕組みになっています。

#####  *タイムキ ーピン グ（計 時）*

• レース開始は、公式スターターがフラッシュガンで合図をします。スターターがフラッシュガン のボタンを押すと、３つのことが瞬時に、そして同時に起こります。光が発せられ、スピーカー から音が鳴り、そしてスタート信号が計時機器に送信され、計時が始まります。もし、ボタンを 押してから 2 秒以内に 2 回目のボタンを押すと、フライングの音がスピーカーから鳴ります。

• レース中、フィニッシュライン近くに設置されたラップカウンターが、選手に残り周数を知らせ ます。

• いくつかの種目では、選手の足首にトランスポンダーを装着し、そこから情報をタイムキーパー へ向けて送信し、その情報はリアルタイム データとして活用されます。

• オメガのラストラップベルが鳴ることで最終ラップを知らせます。

• 最終的なタイムは、最終ゴールラインにあるフォトセルから氷上に放射される光線に、選手の スケート靴のブレードが触れることで決まります。その後、タイムが会場のスコアボードに表示 されます。もしこのタイムで決着がつかない場合は、オメガのスキャン オー ビジョン ミリアに よって記録された、ゴール上の 1 万分の１秒の画像を判定に利用します。

• スピードスケートでは、タイムキーパーと彼らが駆使する技術が、究極の課題に直面することが あります。なぜならスピードスケートが 1000 分の 1 秒の戦いだからです。極小の時間の単位が 目の前をどんどん過ぎて行く---これこそがまさに「オリンピックのスピードスケート」の醍醐味 です。

## *オメガはいかにしてアルペンスキーの計時をするのか*

 ***種目***

アルペンスキーでは滑降、スーパー大回転、回転、大回転、スーパー複合を含む 11 種目が旌善

（チョンソン）と龍平（ヨンピョン）のアルペンセンターにて開催されます。今回の平昌大会におい て初採用となったのは混合団体戦で、この競技にさらなる興奮が追加されることになるでしょう。 この種目では、16 カ国がトーナメント方式で対戦して順位を決定します。各チームは女子 2 人､男子 2 人で編成され、大回転の旗門とフラッグを使用し、2 人同時に滑走するパラレル種目となります。

アルペンスキーがウィンタースポーツの中でも最も人気である理由は、この競技が生み出すスピード 感とドラマのためです。垂直滑走の落差が、男子の場合、回転で 180m、滑降で 1,100m。女子の場合 は回転で 140m、滑降で 800m までになり、選手が出すスピードは時速 130km 以上にも達します。 選手はただ滑るだけでなく、複数の旗門を通過しなければなりません。もし旗門を逃した場合は、 失格にならないために再度その地点まで戻って旗門を通過する必要があります。

#####  *タイムキ ーピン グ（計 時）*

• アルペンスキーの選手は「スノーゲート」と呼ばれるスタートゲートを通って競技をスタート

させます。タイムの計測は、全選手のバーが決められたある角度になった時に始まりますが、 選手には 10 秒の猶予が与えられており、公式スタートタイムの前後 5 秒の間でスタートする ことができます。

• 選手が滑走しているレース中は、赤外線のフォトセルが中間地点でのタイムを計測します。

• フォトセルは、フィニッシュラインにも設けられており、最終タイムも計測します。審判員が 勝敗決定に別の基準を要した場合に備えて、ミリア カメラも準備されています。このカメラは、 1 秒間に 1 万枚の画像を撮影することができます。

• 選手のブーツに取り付けられたモーションセンサーが、コースに設けられた複数のアンテナと 呼応し、レースデータを収集します。その情報は、リアルタイムでテレビ観戦画面に表示され ます。

## *オメガはいかにしてアイスホッケーを計時するのか*

 ***種目***

平昌大会でのアイスホッケーは、江陵（カンヌン）と関東（クァンドン）にある 2 つのホッケー

センターで開催されます。数千人収容の会場にて、男子 12 カ国、女子 8 カ国のトーナメント戦が 繰り広げられます。

女子トーナメントでは、総当たり戦を勝ち抜いた 4 チームが準決勝に進みます。準決勝に勝利した

2 チームは金メダルをかけて決勝を戦い、破れた 2 チームは銅メダルをかけて対戦します。また、 準決勝に進まなかったチームは、5～8 位決定戦にのぞみます。

男子トーナメントでは、総当たり戦の後、上位 4 チームが準決勝に進みます。準決勝に進まなかった

8 チームはもう 1 試合行い、その試合で負けた 4 チームはその時点で失格となります。逆に勝利した

4 チームは、準決勝に進むことができます。

試合は、20 分×3 ラウンド制で行われ、ラウンドの間は 15 分間の休憩となります。3 ラウンド後に 勝敗が決まらなかった場合、「サドンデス」方式の延長戦になり、最初にゴールを決めたチームの 勝利となります。サドンデスでも勝敗がつかない場合は、「ゲームウィニングショット」方式での 対戦となります。

#####  *タイムキ ーピン グ*

• オメガの計時・採点システムは、アイスリンクの横の計時ベンチに設置されています。このシス

テムは、すべての試合における情報と時間を管理し、スコアボード表示、その他の役割を担って います。

• 試合中、アイスリンクの中にいる審判員らは、オメガのホイッスル探知システムを装着していま す。このワイヤレスの装置の中にはマイクが搭載されており、審判員らは、計時ベンチにいる

スコアキーパーと会話することができます。またこの装置は、審判の笛の音を感知するやいなや、 時計を止める機能も担っています。タイムキーパーが手動で時計を止める時と比べて、少なくと

も 0.5 秒以上早く止めることができるのです。

• 選手の背中に取り付けられたモーションセンサーにより、オメガは試合中のデータと情報を集め

ることができます。これらの情報は、リアルタイムでテレビ観戦用の情報として活用され、また 試合後の分析資料としても活用されます。

## *オメガはいかにしてビッグエアを計時するのか*

 ***種目***

スノーボードは、1998 年に開催された冬季オリンピック 長野大会から正式競技になりました。今回

の平昌大会でこの競技の新種目となるのが、ビッグエアです。

オリンピックのこの新しい種目は、名前が示す通り、大きなジャンプ台を飛び出し、フロントサイド 1080、バックサイド 1440、ダブルコークなどの空中スタントを披露します。採点基準は、空中姿勢、 高さや距離、着地などです。オリンピックを含む数多くの大会でこの種目で勝つためには、ある特定 の特別なスタントを披露することが求められています。

平昌に新しく建設された会場は、世界最大のビックエアジャンプ台を誇ります。全長は 49m にも なり、スロープの最大斜度は 40 度です。これは選手にとって、技を披露するためにより長い滞空 時間がもたらされることを意味します。

#####  *タイムキ ーピン グ*

• ビッグエアのすべての審判員は、オメガの計時・採点ルームと繋がっている審判用キーパッドを

携帯しています。審判員はこのキーパッドを使い、各選手の採点を行います。

• 採点スコアは、オメガの計時・採点ルームを経由して、瞬時にスコアボードやメディアに配信 されます。

• 選手のブーツにモーションセンサーを取り付けることにより、オメガは競技関連情報と分析情報 を即座に観客に届けることができます。

## *瞬時にわかる情報*

*“オメガがオリンピックで計測するデータは、どのようにして世界に配信されるのか”*

オリンピックにおけるオメガの役割を考えた時、タイムキーピング（計時）しか思い浮かばないのも 無理はありません。しかし、計時以外にもオメガの影響は至るところに及んでいます。例えばオメガ のデータ処理は、オリンピック運営の肝ともいえる重要なものです。

例を挙げると、2014 年のソチ大会において、オメガは実に 65 万回以上の競技最終記録、中間記録、 順位、距離、点数を測定しました。これは 2 週間に行われた 98 種目の競技での測定の合計です。

この莫大な量のデータは驚愕に値します。しかも、その 1 回 1 回が選手のために正確に計測された だけでなく、結果は即座にスコアボードに配信され、表示されました。さらにメディアを通じて テレビなどに配信されたのです。しかも、そういった一連の作業がすべて 100 ミリ秒（0.1 秒）以内 になされたのです。

まさに、これこそがスポーツの生中継なのです！

すべてのオリンピックで一瞬にして配信されるこのようなデータの唯一の情報源、それがオメガなの です。またデータを収集するだけでなく、それを即座に配信もするというのは、莫大な仕事量を意味 します。だからこそ、夏季オリンピックであれ、冬季オリンピックであれ、それぞれの競技に特化・ カスタマイズされた計時システムと、その競技のエキスパートであるタイムキーパーが必要となるの です。すべての仕事は効率化されており、計時にまつわる様々な作業は完璧に、そしてスムーズに 行われます。

オリンピックのオフィシャルタイムキーパーと聞いて、最初に思いつくことはないでしょうが、オメ ガのデータ処理システムもまた、オリンピックにおいて非常に重要な役割を担っています。オフィ シャルタイムキーパーとしてのこれまで長年にわたる経験と知識、そして卓越した技術を活用して、 オメガはすべての選手と観客の皆さんに、それぞれの競技における一瞬一瞬のパフォーマンスの情報 をリアルタイムで提供しているのです。

今日、スポーツが行われている最中には、あらゆるデータが提供されていますが、これは当たり前の ことではないのです。オメガならではの優れた技術を集めた結果なのです！

## *“ピョンチャン* 2018*” リミテッド エディション ウォッチ*

オメガは、2018 年オリンピック 平昌大会の開催を記念して、2 本の特別なシーマスターを製作しま した。限定数はそれぞれ 2018 本です。

#### *シーマスター プラネットオーシャン ”ピョンチャン* 2018*“ リミテッド エディション*

2018 年に開催されるオリンピック 平昌大会を記念して、同大会でオフィシャル タイムキーパーを つとめるオメガは「シーマスター プラネットオーシャン ”ピョンチャン 2018“ リミテッド エディ ション」を発売します。オリンピック開催中も、そしてその閉幕後も、世界最高水準の精度を保ち 続けることをお約束します。

世界限定 2018 本のこのモデルは、美しく時を刻む韓国国旗をイメージした鮮やかな青と赤が印象的 なタイムピースであるだけでなく、技術的にも優れた逸品です。

ステンレススティール製のケースには、ポリッシュ仕上げのブルーセラミック ダイアルを合わせて います。インデックス、時分秒針にはホワイトのスーパールミノヴァを塗布し、インデックスと時秒 針は青い光を、分針、ベゼルのドットはグリーンの光を放ちます。

今回のモデルの逆回転防止ダイビングベゼルは非常に特別なものです。セラミックにラバーを接合 させるというオメガが世界で初めて開発した技術により、ポリッシュ仕上げのブルーセラミックの ベゼルの最初の 15 分には赤いラバーを接着させています。またミニッツスケールと 12 時位置の ドットにはリキッドメタル®を採用しています。

3 時位置の日付窓の右側にあるのは、オメガのロゴが入ったねじ込み式リュウズです。10 時位置に あるヘリウムガス エスケープバルブには"He"の文字がエンボス加工されています。

時計のフェイスは、両面に無反射加工が施されたドーム型強化サファイアクリスタルガラスで保護 されています。ねじ込み式ケースバックには波模様をあしらい、ブルーの文字で PLANET OCEAN と LIMITED EDITION の文字に加えて、限定番号が刻印されています。ケースバックのサファイアクリス タルガラスには、平昌大会のロゴも施されています。

タイムピースを動かす心臓部は、コーアクシャル マスター クロノメーター キャリバー 8900 です。

マスター クロノメーターとして、スイス連邦計量・認定局（METAS）が設定した 10 日におよぶ

8 つの厳格な基準の検査に合格、業界最高基準をクリアしています。

#### *シーマスター アクアテラ “ピョンチャン* 2018” *リミテッド エディション*

「シーマスター アクアテラ “ピョンチャン 2018” リミテッド エディション」は、アクアテラ コレク ションと同じ革新的技術と美しさを備えています。このモデルの違いは、あくまでオリンピックと いう世界的に大きなスポーツイベントにフォーカスして製作されたという点です。

##### *ダイアル*

まず一目で分かる違いは、オリンピックのロゴがついている点です。5 色に彩られた象徴的なオリン ピックマークが配され、“PYEONGCHANG 2018 ” の文字が、人気の高いブルー PVD ダイアルの 分目盛りに刻まれています。

さらにユニークなのは、開催年の数字である 20 と 18 が、それぞれ分目盛りとして適切な場所に配さ れていることです。これは偶然の産物で、このようなことは今後は起こりえないでしょう。

##### *ケース*

サファイア クリスタル ガラスの透明のケースバックには、平昌大会のロゴが入っています。ケース のサイドには、シリアルナンバーが刻印され、2018 本の限定数の内の１つの数字が刻まれています。

##### *デザインと技術革新*

アクラテラのダイアルの特徴である「チークコンセプト」の装飾を施した、ステンレススティール製 の 41mm のタイムピースです。時計の心臓部となるムーブメントは、マスター コーアクシャル キャ リバー 8500 を搭載しています。

シーマスター アクアテラ “ピョンチャン 2018” リミテッド エディションは、オリンピックデザイン の特製ボックスに入り、販売されています。これは、コレクターズアイテムとして人気の高いオリン ピックの各大会を記念して発表される限定モデルのひとつです。